

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
0 建築物の環境品質・性能						3.1
Q-1 室内環境			0.40			3.2
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	2.0	0.29	
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	2.0	1.00	
2 設備騒音対策						
1.2 遮音		3.0	0.40	3.7	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				4.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.21	
2 温熱環境		2.0	0.35	3.0	1.00	2.8
2.1 室温制御		2.0	1.00	3.0	1.00	
1 室温設定						
2 負荷変動・負荷制御特性						
3 外皮性能		2.0	1.00	3.0	1.00	
4 ゾーン別制御性						
5 温度・湿度制御						
6 個別制御						
7 断熱外皮断熱						
8 集熱システム						
2.2 湿度制御						
2.3 空調方式						
3 光・視環境		2.5	0.25	3.5	1.00	3.3
3.1 昼光利用		3.6	0.30	4.0	0.50	
1 昼光率	最大限確保できる開口部の設定を行う。	4.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口				3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		1.0	0.30	3.0	0.50	
1 窓の遮光・グレア						
2 昼光制御		1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15			
1 照度		3.0	1.00			
2 照度均等度						
3.4 照明制御		3.0	0.25			
4 空気環境		3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学物質汚染	以上の内装材の義務付けを図る。	4.0	1.00	4.0	1.00	
2 臭気対策						
3 放射性物質						
4 レンタル対策						
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	1.00	3.0	0.33	
2 自然換気性能				3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	
4 給排設備						
4.3 運用管理						
1 CO ₂ の監視						
2 喫煙の制御						
Q-2 サービス性能			0.30			3.2
1 機能性		3.6	0.40	3.6	1.00	3.6
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60	4.0	0.60	
1 広さ・収納性						
2 高度情報通信設備対応				4.0	1.00	
3 バリアフリー計画	福祉条例はもとより、ハートビル法の最低基準の遵守。	4.0	1.00			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 広さ感・景観				3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
2 耐用性・信頼性		2.8	0.31			2.8
2.1 耐震・免震		3.0	0.48			
1 耐震性		3.0	0.80			
2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.5	0.33			
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.29			
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.12			
3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29			
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29			
2.3 清掃作業						
1 床・壁紙・地盤仕上げ材の更新						
2 配管・配線材の更新						
3 共用設備機器の更新						
2.4 信頼性		3.0	0.19			
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3 電気設備		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		3.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.0	0.29	3.3	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり				-	3.6	0.50	
1 階高のゆとり				-	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00		-	
1 空調配管の更新性			-	-		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.13		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.13		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.27		-	
6 バックアップスペース			3.0	0.27		-	
Q-3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							2.9
LR-1 エネルギー				0.40	-	-	3.4
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40		-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50		-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		各設備制御の効率化と省エネ設備の多用による対策を図る。	4.1	0.40		-	4.1
4 効率的運用				-		-	-
4.1 モニタリング				-		-	-
4.2 運用管理体制				-		-	-
LR-2 資源・マテリアル				0.30	-	-	2.5
1 水資源保護			2.2	0.15		-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム			3.0	0.67		-	
2 雑排水利用システム			3.0	0.33		-	
2 低環境負荷材			2.5	0.85		-	2.5
2.1 資源の再利用効率			2.3	0.35		-	
1 躯体材料の再利用効率			3.0	0.67		-	
2 非構造材料の再利用効率			1.0	0.33		-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.04		-	
2.3 有害物質を含まない材料			3.0	0.08		-	
2.4 既存建築躯体などの再利用			3.0	0.18		-	
2.5 部材の再利用可能性			3.0	0.18		-	
2.6 フロン・ハロンの回避			2.0	0.18		-	
1 消火剤			-	-		-	-
2 断熱材			2.0	1.00		-	
3 冷媒			-	-		-	-
LR-3 敷地外環境				0.30	-	-	2.7
1 大気汚染防止		汚染物の使用無し。	5.0	0.10		-	5.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.10		-	3.0
2.1 騒音			3.0	1.00		-	
2.2 振動			-	-		-	-
2.3 悪臭			-	-		-	-
3 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.15		-	3.0
3.1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
3.2 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	
4 光害の抑制		光害の発生源無し。	4.0	0.10		-	4.0
5 温熱環境悪化の改善			1.0	0.30		-	1.0
6 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25		-	3.2
6.1 雨水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
6.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
6.3 交通負荷抑制		交通利用の利便性について建築計画時に検討配慮済。	4.0	0.25		-	
6.4 廃棄物処理負荷			3.0	0.25		-	

LR-1 用途別得点表		集合住宅	-	-	-	面積按分
		2541 m ²	-	-	-	総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	3.0	-	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	-	-	-	-	4.1
	ERRによる評価	4.1	-	-	-	
	個別設備による評価	-	-	-	-	
3.1	空調設備	-	-	-	-	-
3.2	換気設備	5.0	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	4.0	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	3.0	-	-	-	-